

事業所名	Sun Kids				公表日	2026年3月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	利用の数や活動状況によって、スペースを広くしたり仕切って使用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	医療度が高いこどもの利用が多く、基準以上の職員の配置をして対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	バリアフリーになっており、トイレ等も広く使いやすい。こどもに分かりやすく絵カード等で案内している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	感染対策としてアルコール消毒や次亜塩素酸の拭き掃除を実施している。こどもが過ごす部屋はクッションフロアの緩衝マットで安全面に配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	クールダウンや切り替えのために使用できる部屋や必要に応じて個別の部屋を使用できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	全員で行えるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	保護者の意見をもとに、職員みんなで話し合い、業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	職員が意見を言える環境作りをしている。個別面談をおこないその都度改善するようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3	事業所として、第三者委員会は設けていない。	今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	外部研修、内部研修ともに開催、参加し職員の資格向上を図っている。外部研修を受ける際、会社補助があり、スキルアップ出来る環境である。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	支援プログラムの内容が個々の個別支援計画に繋がるように作成している。公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	こどもの特性やニーズを把握し、日常生活の状況のアセスメントをもとに作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	多職種連携を生かして意見交換を行いこどもの最善の利益を考慮し、検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	計画に沿って最善の支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	子どもの意見を尊重し、本人の能力や興味関心を把握している。インフォーマルなアセスメントを組み合わせて、情報を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	個々の利用児に合わせ、要望をもとに支援計画を立案している。アセスメントを活用し、発達に合わせて計画を立案している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	保育士を中心に話し合い活動を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	分担して活動の担当を決め固定化しないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	個別の動作や、集団での音遊び、ゲーム、リハビリ等、子どもの状況に応じて支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	朝の会、朝礼で情報共有や打ち合わせを行っている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	その都度、振り返りや気付いた点を共有し、打ち合わせを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	日々の支援や様子については記録に残している。検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	6ヶ月毎に行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	リハビリ等の会議には理学療法士が、参加している。こどもの状況をよく理解した管理者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	地域の医療（主治医や協力医療機関等）障がい福祉、保育、教育と連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	お互いに情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	就学移行前から発達教育センターと就学後について情報共有を行い、学校決定後は担任と連携しながら情報共有を行っている。就学後は担当者会議を通して支援の一貫性を図っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	0	療育センターと連携し、必要時助言を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	地域のお祭りやイベントに参加したり、近くの公園に行った際に他の保育園の子ども達と交流している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	通所利用時は家庭からの様子を連絡帳に記載してもらい、活動の様子や写真を送信している。気になることなどは送迎時に家族と話をしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	家族等が参加できる研修のお知らせ等、その都度情報共有を行っている。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	連絡帳ツールで家族の意向を確認している。支援計画は家族の意向も考慮して作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	家庭訪問や送迎時等に説明し同意とサインを得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	必要時相談に応じて面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	家族交流会、クリスマス会、餅つき大会等を開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	事業所内で話し合い対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	定期的におたよりを発行している。Instagramに投稿し活動の様子やイベントなどの情報を発信している。	

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	十分に注意している。インスタグラムに投稿する写真は、スタンプを貼り、個人が分からないようにしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	選択しやすい問いかけや表情などの表出をくみ取っている。 声掛けだけでなく、絵カードを用いている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	地域コミュニティや地域イベントに参加している。地域交流としてのイベントを開催している。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	それぞれのマニュアルを作成し、年間2回以上火災・水害・地震・防犯等の訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCP策定しており、定期的に訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	医師の指示書や服薬依頼表にて服薬・てんかん発作時の薬剤を確認している。薬の変更時はすぐに持参してもらう。感染症一覧表にて、予防接種状況を把握する。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	保護者持参の食事なので対応はされている。クッキングの際は保護者に確認し行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全に配慮して支援している。	日々の安全チェックや定期的な見直しが必要であり行っていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	おたより等にて、周知している。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハット事例を共有し、対策を話し合うようにしている。	迅速な周知と改善を行っていく。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止の勉強会を実施し虐待に当たる行為の確認を行っている。	定期的な委員会や職員での見直しや確認が必要あり、行っていく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	現在身体拘束が必要な子どもはいないが勉強会を実施し身体拘束に当たる行為の確認を行っている。	定期的な委員会や職員での見直しや確認が必要あり、行っていく。	